



東京学芸大学附属高等学校

第 18 回 情報教育公開研究会のご案内

皆様方には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、本校では、第 18 回 情報教育公開研究会を以下のとおり開催致します。是非、多くの教育関係者の皆様にご参加いただき、ご意見、ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

1. 主題

普段使いの ICT ～「共有」の手段として～

本校は、1995年から教員自らネットワーク配線を行い、PC端末を情報教室や各教室に備えてきました。生徒一人一人にはメールアドレスを配布し、タブレット端末の導入も年々増やしております。そのような本校が、実際に日頃の授業でどのようにICT機器を活用しているのかを知って頂く機会が、この情報教育公開研究会です。18回目を迎える今回は、「共有」という学習場面に焦点を当て、その活用法のご紹介をさせていただきます。なぜなら、さまざまな教科・科目の授業においてICT機器が「共有」に生かされているためと、焦点化をすることでICT機器を活用する上での長所・短所が浮かび上がると考えたからです。

さらに、本校ならではの特征として、「手段として」ということも強調しておかなければなりません。あくまでも本校が目指す「本物教育」の手段としてICT機器の活用があるのだという考え方が、ここには示されています。

次期学習指導要領で掲げられる「アクティブ・ラーニング」、ESD (Education for Sustainable Development)、大学入試改革の動向から、ICT 機器の活用はさらに広がっていくことがわかります。近い将来のこうした動きに向けて、今回は授業以外の活用法も含めた本校独自のご提案をさせていただきます。

2. 日時・内容

平成 28 年 10 月 3 日 (月)

12:45

13:10 ～ 14:00

14:10 ～ 15:00

15:20 ～ 16:50

受付	公開授業Ⅰ 授業外での活用紹介	休憩	公開授業Ⅱ 授業外での活用紹介	休憩	研究協議会 情報交換会
----	--------------------	----	--------------------	----	----------------

公開授業Ⅰ (13:10～14:00)

教科	科目	授業者	授業タイトル	授業概要
国語	現代文 B	日渡 正行	「書くこと」に向かうための ICT活用 ～事前の読解や記述を共有する授業	夏目漱石『こころ』について、それぞれの読みを共有し、それを活かして自分の考えをまとめていく。事前の ICT 活用を授業につなげる。
理科	物理	市原 光太郎	コンデンサの充放電	デジタルオシロスコープを使って、コンデンサの充電・放電時の電圧変化を観察する。それを生徒が使用できるサーバーを介してデータを共有して分析する。
数学	数学Ⅰ	野島 淳司	音波を表す関数を見いだす ～ ICT を活用した探究と共有 ～	DTMF の信号音 (電話のプッシュ音) を表すグラフについて、生徒が PC のグラフソフトを用いてその関数を見いだす探究を行う。探究や共有に ICT を用いることにより、どのような学習活動が可能となるかを考察する一助としたい。

公開授業Ⅱ (14:10～15:00)

教科	科目	授業者	授業タイトル	授業概要
公民	現代社会	楊田 龍明	現代社会の諸課題について 問題意識を共有し、考える	社会問題を生徒たちに考えさせ、話し合わせるために問題意識の共有は不可欠である。動画や画像を iPad で見せることが、問題意識の共有を容易にすることを示したい。具体的な事例を取り上げる現代社会だからこそ、お手軽な手段として ICT を授業に用いたい。

理科	地学基礎	齋藤 洋輔	地学基礎における反転授業でのカリキュラム・マネジメント	10月末に実施される野外実習に向けた授業を反転授業の形式で行なう。また、より質の高いグループでの活動を実現させるべく、継続的にグループ活動を取り入れたカリキュラムづくりを計画する。
----	------	-------	-----------------------------	--

授業外での活用紹介

担当者	タイトル	概要
大谷 晋	File Maker Pro を活用した校務の効率化	生徒の出欠の情報や成績データの共有など、様々なデータの管理についてのご紹介。
金指 紀彦	Google フォームを活用したアンケートの作成と分析	Google Apps は授業以外でも活用できる。使い始めてまだ1年だが、日常の校務の効率化を図るべく本校が活用した例をお示しし、実際にChromebook を用いながら Google フォームを体験して頂く。

研究協議会・情報交換会

研究協議会	授業者による授業概要の説明と、質疑応答
	加藤直樹先生（東京学芸大学教育実践研究支援センター准教授）の講演 「小・中学校の現状から考える、高等学校におけるこれからの情報化について」
情報交換会	個別の質疑応答

講演

テーマ	小・中学校の現状から考える、高等学校のこれからの情報化について
講師	加藤 直樹先生（東京学芸大学教育実践研究支援センター准教授）
	加藤直樹先生は、教育環境をHCI (human computer interaction) の観点からとらえ、コンピュータへの入力にペンを用いる Pen-based Computing を中心に、Tablet PC やインタラクティブホワイトボードを利用した教科書やノート、黒板の電子化の研究をされています。教育現場における情報化の実態と今後の行方について、お話をして頂きます。

3. 場所

東京学芸大学附属高等学校 〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5

4. 参加費

無料（資料により実費をいただく場合もあります。）

5. 参加申込

参加ご希望の方は、本校ホームページ（<http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp>）または Fax にて、9月26日（月）までにお申し込みください。

6. その他

詳細は本校 Web ページ（<http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp>）に順次公開致します。

問い合わせは、下記までお願い致します。

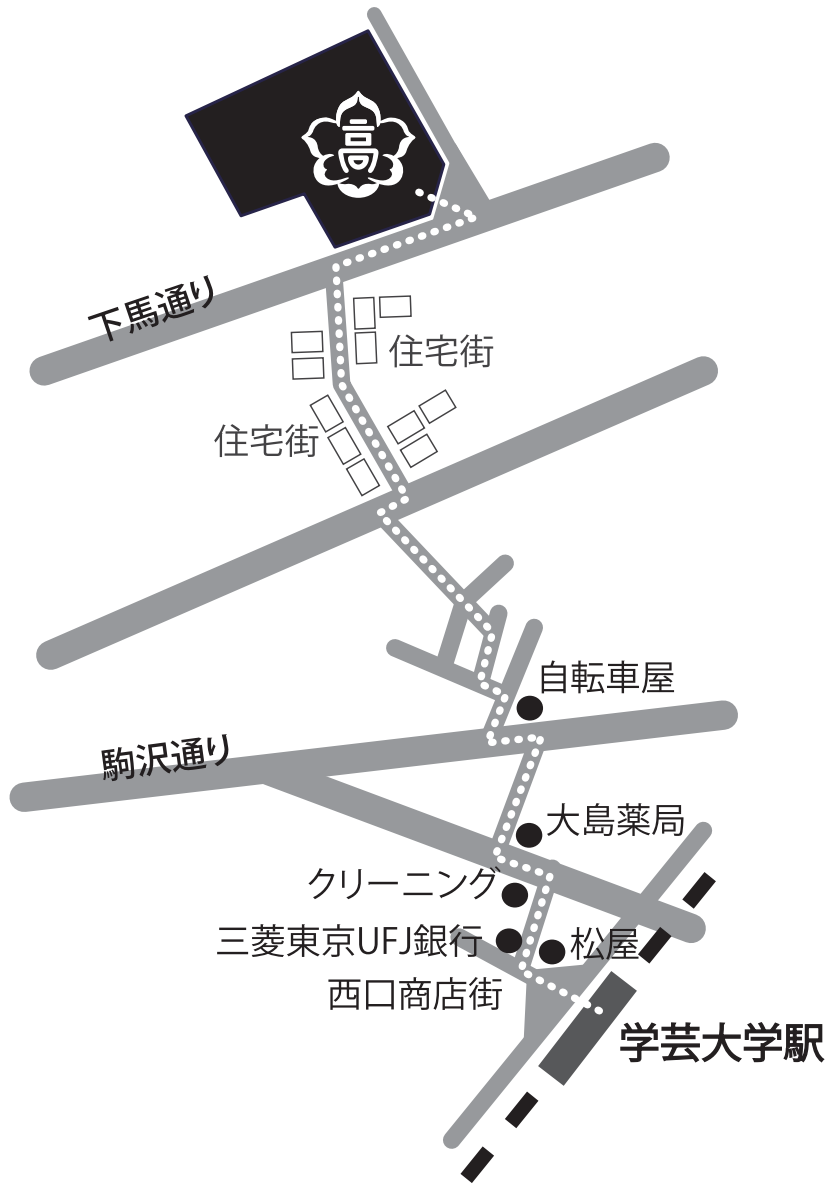
東京学芸大学附属高等学校 〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5

TEL：03-3421-5151(代) FAX：03-3421-5152

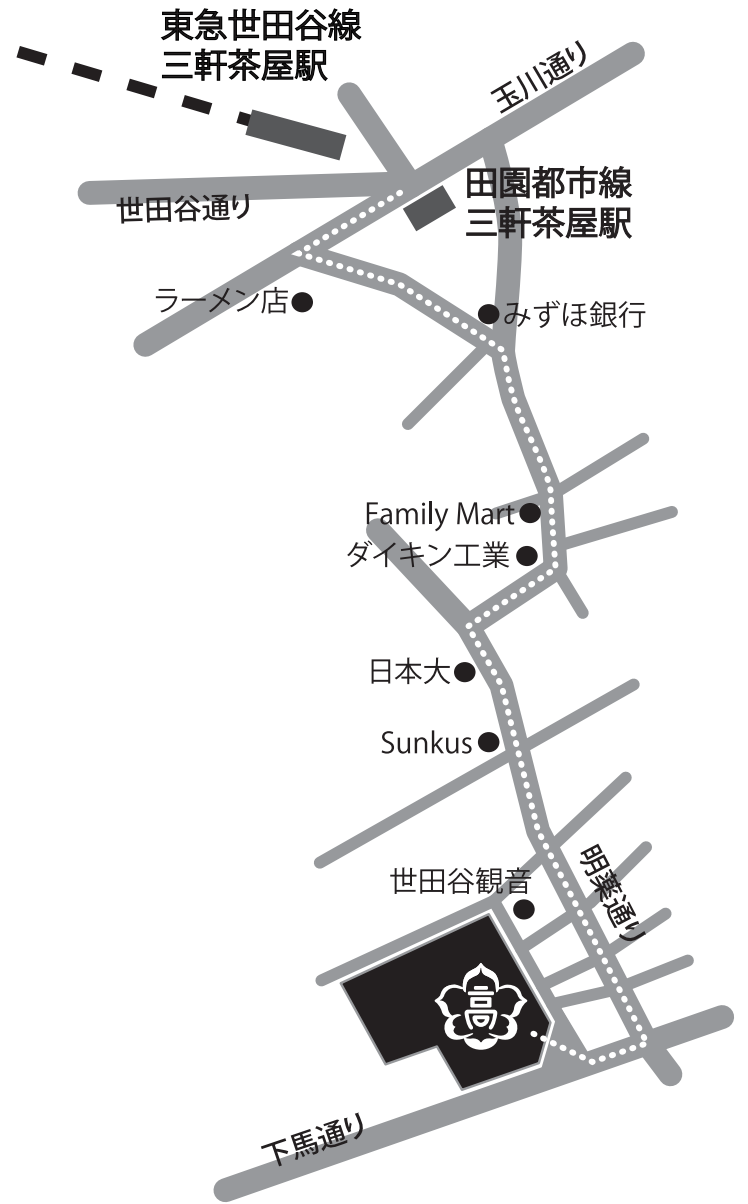
E-mail：kougaku@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp （担当：教育工学委員会 金指）

7. 東京学芸大学附属高等学校へのアクセス

電車 ・ 東急東横線「学芸大学」駅下車 徒歩 15 分



・ 東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車 徒歩 20 分



バス（東急バス）

- ・【渋谷駅】南口 〔渋 32〕系統 「野沢龍雲寺循環」行き
〔渋 34〕系統 「東京医療センター」行き、または「多摩川駅」行き
 - ・【目黒駅】西口 2 番のりば 「三軒茶屋」行き
 - ・【三軒茶屋駅】「目黒駅」行き
- ※いずれも「学芸大学附属高校」下車 徒歩 1 分

第 18 回 情報教育公開研究会 参加申込書 (Fax 用) Fax : 03-3421-5152

フリガナ	
学校名 所属名等	
所在地 住所等	〒 (—) 住所 : TEL (— —) FAX (— —)
連絡先 E-mail	@

フリガナ お名前	ご担当教科 (科目)	参加予定分科会
		授 業 I : ----- 授 業 II : ----- 協 議 会 :
		授 業 I : ----- 授 業 II : ----- 協 議 会 :
		授 業 I : ----- 授 業 II : ----- 協 議 会 :
		授 業 I : ----- 授 業 II : ----- 協 議 会 :

※9月26日(月)までに、ホームページまたはFaxよりお申し込みください。
 東京学芸大学附属高等学校 教育工学委員会
 〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5 Tel : 03-3421-5151 Fax : 03-3421-5152
 (お問い合わせ) E-mail : kougaku@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp (教育工学委員会) まで